

統合失調症の患者さんへ

東京大学医学部附属病院精神神経科では 統合失調症の新しい薬を開発するために 臨床試験を行っています

東京大学医学部附属病院精神神経科では、統合失調症の患者さんに対するベタインの有効性と安全性を調べる研究（臨床試験）を行っています。この臨床試験に参加していただける統合失調症の患者さんを募集しています。

ベタインとは？

ベタインは広く食用の魚介類や植物に存在する物質です。統合失調症とは別の病気ですが、ホモシチン尿症という病気の治療薬として用いられることがあります。私達の研究で統合失調症患者ではベタインが少ないことを見つけており、補うことで治療になるのではないかと期待しています。

ご参加いただける方

- 統合失調症と診断された方
 - 男性の方
 - 20歳以上40歳以下の方
- 上記以外にも条件があります。参加条件を満たさずにご参加いただけないこともありますのであらかじめご承知おきください。

ご協力いただくこと

- ベタインという新しいお薬を飲んでいただきます。
- 東京大学医学部附属病院精神神経科に通院していただきます
- 診察、採血、尿検査、心電図などを行います
- 負担軽減費を用意しております

お問い合わせ 下記ホームページからお問い合わせください

<http://betaine.umin.jp/>

東京大学医学部附属病院精神神経科

東京都文京区本郷7-3-1 03-3815-5411(代表) 試験責任医師 切原 賢治(きりはら けんじ)